

嗅覚・味覚障害を主訴に受診される患者の皆さまへ

嗅覚・味覚障害が新型コロナウイルス感染の症状であると報道されています。しかし、嗅覚や味覚の障害はインフルエンザや一般の「かぜ」でも生じることがあり、必ずしも新型コロナウイルスだけが原因ではありません。また、新型コロナウイルス感染症による嗅覚や味覚の障害は自然に治ることが多く、特効薬もありません。

現時点での当院では以下の対応とさせていただきます。ご理解のほど何卒よろしく願いいたします。なお、このお知らせは診断や治療の進歩によって、変わることがあります。

1. 嗅覚・味覚障害以外に 37.5 度以上の発熱、咳嗽、倦怠感などの症状がある方は、必ず、事前にお申し出ください。
2. 当面の間、嗅覚・味覚障害を主訴とされる患者さんには問診・画像検査等を中心に行い、必要に応じて投薬を行います。鼻鏡検査、鼻腔内視鏡検査などは行いません。
3. 嗅覚・味覚障害の治療は急ぐ必要はありません。自然に治ることも多いのでしばらく様子を見てください。特効薬はありませんが、2 週間経っても他の症状なく嗅覚や味覚が改善しない場合は耳鼻咽喉科外来を受診してください。

令和 2 年 4 月 2 日

札幌医科大学附属病院
病院長
耳鼻咽喉科科長